

60歳  
学習塾経営  
男性

## 今の時代 子育ては夫婦ふたりで

### ♠ 父親も子育てに関わる時代になった

昔は隣近所との付き合いが濃密で、地域で自分の子も他人の子も一緒に育ててくれる環境がありました。今は、そのような人間関係が希薄になり、子どもは家庭の中で育てなければならなくなっています。私たちの時代は、PTAなどの学校行事は主に母親が関わっていましたが、その時代は終わったという気がします。私は子どもたちに30数年、勉強を教えてきましたが、最近では、休日の保護者会や進路相談には、多くの父親が参加します。夫婦という単位で真剣に子どもに関わる時代になったと感じます。

### ♠ 0〜1歳時期の子育ては夫婦で協力

生まれて、歩けるようになり、言語を発するようになるまでの0〜1歳のときに、人間は一番成長すると聞いています。まず生みの苦しみから始まり、1歳児までの子育ての苦労は、これこそ経験した母親でなければわからないでしょう。一番大変なこの時期に、少しでも大変さを分かち合えるかどうか、その後の子育てに大きく影響すると思います。



実は私は、今となっては恥ずかしいのですが、息子のオムツを替えた記憶はありません。妻は自分の時間がまったくないような日常を送っていたのだと思います。母親の役目として、それは当然のことだと思っています。私の場合は、同居の母がおりましたので助かりましたが、同居が少なくなっている現実の中では、父親の協力なしで、母親一人で子どもを育てることは大変なことだと思えます。父親も積極的に協力すべきですし、父親以外の周りの協力やアドバイスも必要はなはず。性差を取り払って、夫婦で子育てをする、そういう

スタンスが望ましいと思います。「協力」「共同」「共生」という言葉は、子どもを育てるうえで、まさに必要なことだと思えます。子ども一人に対して関わる大人が少ない現代社会だからこそ、夫婦は一緒に考え行動することが大切なのではないでしょうか。

### ♠ 子育て環境を変えるには

病気や事故なら突然で準備のしようがありませんが、子どもが生まれる日はだいたいわかっているわけです。ですから、会社でも周囲の人が協力・調整していくような気運の醸成があるといいのではないのでしょうか。父親も子育てに共同参画し、育児を増やすには、社会が変わり、制度が整えられることが必要だと思います。子育ての環境をどう作るか真剣に考えたら、社会がそういう体制を作らないといけないと思います。

## 子育て世代の意見

「今の時代 子育ては夫婦ふたりで」



「一度もオムツを替えたことがない」…今の時代考えられませんか。

私の夫は積極的にオムツ替えるのをやるわけではないですが、替えてこ言ったら一応替えてくれます。あとは、お風呂に入れる、食事を食べさせる、子どもと遊ぶ…ことがあかね。子どもと遊ぶような楽しい部分だけでは、父親としての役割は不十分では？



自分の子どもなのだから、子育ては夫婦二人が当たり前だと思えます。実際、妻の母親と同居してしまあが、娘の育児については、まっ手夫婦で考えることにしています。こうしても手

助けが必要なきには、お母さんにお願ひあるようにしています。娘の育児については、妻を手伝っているのではなく、妻と一緒に育児をしていることを思っています。



60歳  
民生委員  
女性

## 時代の変化との狭間で

### ♥ 地域を支える女性たち

地域活動については、私は民生委員をやっています。民生委員として高齢者の自宅を訪問したときも、状況によっては、女性のほうが好ましいのでは、と男性の民生委員の方が言っていました。特に訪問先が女性の場合、男性に対してどうしても身構えてしまいます。

今の60代以上の女性は活動的な人が多いから、町会や地域に積極的に参加しています。活動の分担も女性は暗黙の内に役割を年代別に決めていきます。男性は長で、副は女性と分けているのが普通ではないでしょうか。でも、これからは女性が会長になる町会や地域が増えると思います。

### ♥ 介護は誰に？

男性も車椅子の介添えなどのように出来る範囲で介護を手伝うようになりまし。さらに高齢化が進む以上、男性・女性にかかわらず、介護はやらざるを得ない状況だと思っています。



今は、長男が必ず親の面倒をみる時代ではありません。しかし、介護される親の立場から言えば息子や娘のほうで安心して頼りになります。婿さんや嫁さんではお互いに気を使うのが現実なので、言いたいことが言えないと思